

活力ある、安心して暮らせる地域づくり

京都南部の声を国会に!

ウエルサンピア 京都を守れ

全国の年金関連施設を売却する法律が成立し、京田辺市にある「ウエルサンピア京都」(年金休暇センター)が、売却されることになりました。京田辺で唯一の大型宿泊施設であり、地元の農産物の販売も行われ、テニスコートやゲートボール場も大賑わいで、黒字の施設です。



6月1日 厚生労働委員会

「一般競争入札を行って、どんな用途であろうと1円でも高く売る」という姿勢の厚生労働省に対して、「あまりにも無責任。街づくりが目茶苦茶になってもいいのか!」と強く迫りました。

尾辻大臣からは「入札の前に地元自治体と協議する」「黒字施設は、その業務が続くことが望ましい」「従業員の雇用確保にも最大限の配慮をしたい」との答弁を引き出しました。

ポートピア建設は、住民同意が前提

いま、八幡市でポートピア(場外船券売り場)建設計画が持ち上がっています。十分な地元同意なくして、計画が進められつつあるため、私は管轄官庁である国土交通省に対して、国会で質問しました。

北側一雄国土交通大臣からは、「実質的な地元住民の同意が必要」という答弁を、国土交通省の担当局長からは、「地元同意の内容を詳細に確認した上で判断する」との答弁を得ました。



2月28日 衆議院予算委員会

雇用促進地域指定の延長を

5年前から宇治・城陽・久御山・宇治田原は、緊急雇用増大地域に指定され、公的な助成が行われてきました。しかし、来年4月にはこの指定が終了する予定で、私は、京都南部の雇用は依然として厳しいことを訴え、引き続き、雇用機会増大促進地域の指定が続けられるように要望しました。

厚生労働省から、「京都府から要望があれば、その方向で検討したい」という答弁を得ました。



4月25日 衆議院決算行政監視委員会

消防出初式に参加

年初には地域の安全や防災を願って各地域の消防出初式に参加。地域の消防署や消防団の方々のおかげで、安心して暮らすことができます。消防団は偉大です。



(城陽市 1月9日)

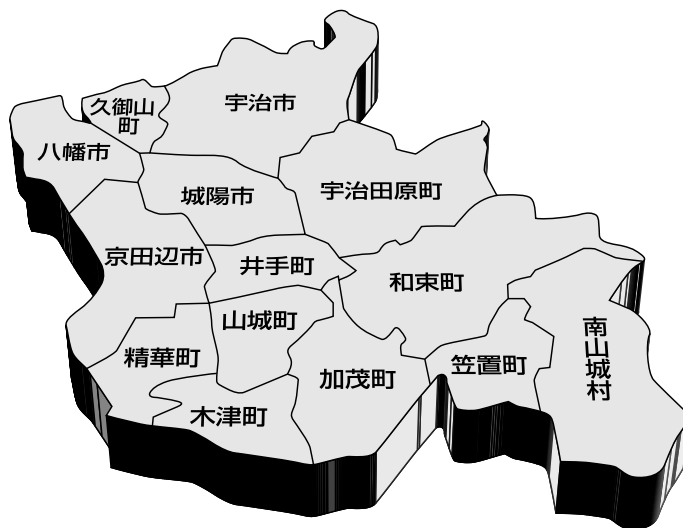
16 軒のお年寄りの家を訪問



16軒のお年寄りの家を、ホームヘルパーさんやケアマネージャーさんなどと共に訪問し、お年寄りの生の声を聞き、介護サービスの大切さを痛感。「お年寄りの命綱であるホームヘルプを切らないように!」と強く、尾辻大臣に要望。(2面参照)



やまのいが活動する京都6区



27 ケ所の障害者福祉現場を訪問

5・6月の毎週末に合計27ヶ所の施設、グループホーム、作業所などを訪問。「自己負担が増えたら、サービスが利用できない」「グループホームが増えるように!」という声を尾辻大臣にぶつけました。(2面参照)



子どもの福祉向上のために

仙谷由人政調会長、玉置一弥議員、福山哲郎議員、松井孝治議員とともに京都南部の児童福祉施設を訪問。民主党は子育て支援や、児童虐待防止に力を入れています。



曲がり角に来た学研都市

予定通りに整備が進まず曲がり角に来ている関西学研都市。撤退した企業の写真をパネルにし、学研都市の規制緩和を要望しました。

蓮実国土交通副大臣から、「(研究施設のみならず)生産機能を有する研究開発施設の立地促進を進めたい」との回答を得ました。



4月25日 衆議院決算行政監視委員会

相楽郡東部の情報過疎を国会質問

京都南部にはまだ高速インターネットが届いていない地域があり、情報過疎をなくすように国会で総務省に要望。

総務省も情報過疎をなくす取り組みを始めました。

また、2011年テレビ放送完全デジタル化に向け、難視聴地域をなくすとの回答を引き出しました。(4月25日衆議院決算行政監視委員会)



産経新聞 5月1日

茶畑と製茶工場を訪問

山井は、茶業振興議員連盟の一員として、宇治茶の振興に力を入れています。この日は茶畑で玉露の摘み方を教わり、製茶工場を訪問しました。

